

# キャリア教育だより

群馬県立聾学校 進路指導部

令和6年5月31日発行 No.1

## 校長あいさつ

校長 岡田 明子

キャリアの語源は、荷車の車輪の轍（わだち）だそうです。人は生まれた時には、子供という役割があり、仕事に就くと職業人という役割をもちます。親になるとその役割も追加されます。このように、人が生きた跡がキャリア（わだち）となります。子供がいるから保育士や教師という仕事も必要となるため、子供であっても役割があると考えます。一人の人間が、自分の人生を精一杯生きることがその人のキャリアを形成していることになるのです。子供たちの今年のキャリアが確かなものとなるよう全力で応援します。

## 令和6年度入試を振り返って

大手教育研究所の調査結果によると、令和5年度入試では、学校推薦型や総合選抜型で大学に入学した生徒の割合が、一般選抜で入学した生徒の割合を上回り、令和6年度入試ではその差がさらに広がっているという報告があります。このことから、基本的な学力に加えて、自身の探究活動の成果やプレゼンテーション力、与えられた情報から課題を解決する力などがより求められるようになってきていると考えられます。

大学だけでなく、高等学校の入学者選抜の手続きやオープンキャンパスの情報など、さまざまな場面でインターネット上での処理が増えています。以前ならば、学校が主導して行っていたことが、自分（保護者）自身がやらなければならない状況になっています。

視野を広げ、積極的に数多くの情報を集め、その中から適切なものを選択する。そして、最後は自分で納得して決定する経験を増やす1年にしてほしいと考えています。

## 令和5年度 高等部卒業生の進路状況

- ・ 日本精工株式会社
- ・ 筑波技術大学産業技術学部産業情報学科
- ・ 群馬医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科
- ・ 筑波大学附属聴覚特別支援学校高等部専攻科
- ・ 桐生大学短期大学部アート・デザイン学科
- ・ 群馬自動車大学校



## 今年度の進路行事

中学部と高等部の生徒を対象としますが、保護者の方も参加いただける講演会を実施します。希望

される方は御予定ください。詳細については、改めて通知を配布します。

- ・ 8月29日（木）進路講演会 ※今年度は2部会に分かれて実施予定です
  - ①就職・進学部会 講師：株式会社SUBARU、ハローワーク
  - ②福祉部会 情報提供：就労移行支援事業所、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所
- ・ 11月28日（木）卒業生のお話を聞く会

## 開校記念行事の様子から



4月12日（金）に開校記念行事を実施しました。校長先生からは、学校の歴史について話がありました。小学部では、本校の卒業生でもある堀米先生の話をお聴きしました。先生が小学部生だったころのことをクイズ形式で楽しく知ることができました。プレイルームが砂場だったことや、校庭でウサギを飼っていたこと、堀米先生の同級生は16人もいたことなど、驚くことがいっぱいでした。最後に、先生が小学部の時に流行っていた「ウルトラマンじゃんけん」をみんなで楽しみました。身近な先輩の話をお聴きすることで、豊学校がずっと前から続いていることをみんなで実感することができ、有意義な時間となりました。

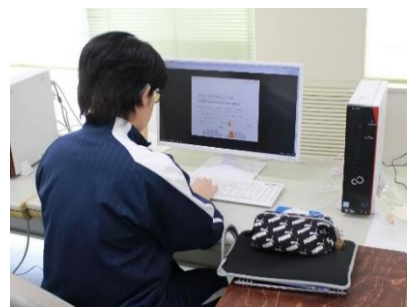


中高等部では、生徒会が中心となって国際手話を紹介・体験する講演会を開催しました。講師にウクライナ出身のシドルチュク・オレクサンドルさん（聾者）を迎え、国際手話を実演していただきました。アクティビティの時間には、生徒たちは学年を超えたグループ



に分かれ、一緒にお手本を見たり話し合ったりしながら国際手話を学び、最後には練習の成果を発表することができました。また講演会後にも、生徒たちから「この前覚えた国際手話です！」と実演してくれることがあり、生徒たちの中に国際手話が経験として残っていることが感じられました。今回のような講演会や体験を通して、将来、国際社会につながる社会の一員としての生活へと生徒たちの世界が広がっていくのではないかと感じました。

## 高等部学科説明会



5月15日（水）に高等部学科説明会がありました。本校中学部3年生と保護者の方が参加し、全体説明の後、普通科普通コース①②、普通科生活コース、情報デザイン科の授業を見学しました。見学した生徒からは、「先生と生徒がやりとりをしながら授業を進めているのが印象的だった。」「分からない時に質問がしやすい環境だと思った」という感想がありました。

授業見学の後には、高等部2年生が入学時にどのように学科やコース決定をしたかについて話したり、質問に直接答えたりする場面もあり、生の声をお伝えできたのではないのでしょうか。

9月5日（木）には体験入学があります。当日は実際に授業に参加することができます。自分の進路選択を考える上でのよい機会になると思います。

